

# 令和5年度第1回会津若松市健康づくり推進協議会 会議録

日 時 令和5年6月20日(火) 午後1時00分～午後2時10分

場 所 會津稽古堂 多目的ホール

出席者 19名中16名出席(1名途中参加)

内容	詳 細 内 容
開会	第1回会津若松市健康づくり推進協議会を開催。 19名中15名であり、過半数に達し条例第6条の規定に基づき、本会議の成立を報告。
市長あいさつ	第2次健康わかまつ21計画の最終評価についての説明及び第2次食育計画の進捗報告について、忌憚のないご意見を賜りたい。
会長・副会長選出	事務局提案(会長:会津若松医師会 矢吹孝志委員、副会長:会津若松歯科医師会 渡部圭一委員)のとおり承認。
矢吹会長あいさつ	新型コロナウイルス感染症はまだ収束しておらず、引き続き注意が必要。 会津若松医師会では多職種連携事業に取り組んでいる。市の健康づくりの観点においても、他分野から参集された皆さんのご意見は貴重であり、積極的な発言を期待する。
渡部副会長あいさつ	会津若松歯科医師会では、市の健康づくりに関しては全面的に協力していきたいと考えている。
議事 ①第2次健康わかまつ21計画最終評価等	条例に基づき、会長が議長となり、議事進行する。  ①「第2次健康わかまつ21計画の最終評価及び第3次健康わかまつ21計画の策定について」事務局より説明。  なお、ボリュームがあるとともに内容が多岐に渡ることから、ご意見等については、この場に限らず6月末まで事務局へお寄せいただければ、反映させていただくので、引き続きご検討いただきたい。  《質疑応答》 なし
②第2次食育計画進捗報告	②「第2次食育推進計画の進捗報告」について事務局より説明。  《質疑応答》 ○委員(行政機関) 前議題のアンケートにおいて、コロナ禍における生活習慣の変化はあまりないとのことだったが、自宅でのお惣菜の頻度が増えるなど、食生活への影響は大きかったと思われるため、「食育」の重要性を改めて認識した。  ○議長 市の食育に関する長期的な方向性や展望などあればお聞きしたい。

●事務局

第2次食育計画策定の際、出生期から高齢期までのライフステージに応じた取組を考慮した。効果がすぐに現れる訳ではないため、それぞれステージで息の長い対応としながら、生活習慣病との連携も重視した経緯がある。コロナ禍における市民生活への影響については今後の対応となるが、食育に限らず、総合的な判断を要するものとする。

○議長

生活習慣病といえば糖尿病と考えるが、医学的な見地からの変化はあったのか。

○委員(保健医療団体)

糖尿病傾向の健診結果は全体の21～22%程度でコロナ禍以前から変わらず横ばい。通常の診察における肌感的なものでも、大きく変わった様子は見受けられない。

○委員(各種団体)

市では、郷土食に対する理解を深める取組として、会津の代表郷土食「こづゆ」づくりを通じた親子食育体験学習を夏に企画しているが、減塩対策が必要と考える。とくに「こづゆ」は出汁をしっかりと、塩分は控え目のレシピにして実施いただきたい。

○議長

ここに参集した皆さんは各団体・業界の窓口として、ぜひ食育事業の推進にお力添えを賜りたい。

各団体の会合等で食育や郷土料理に関して話題になったことがあるか。

○委員(各種団体)

食育に関してというよりは、体型が変わってくる年代でもあるので、そういったことを含めた健康の話題が出ることはある。また、「こづゆ」については私自身もレシピは把握しておらず、実家で食べるものという認識があるため、今の保護者世代でも作ることでできる方は少数ではないかと考える。「こづゆ」の視点は作れる人を増やすためにも良いと思う。保護者世代より上の世代は作られている方が多いと思う。

○委員(各種団体)

特になし。会合において取り上げる内容としては専門性が高いように感じる。個人的には誰にでも分かりやすい資料を使って、身近な内容になれば、興味を湧きやすいのではないと思う。

○委員(保健医療団体)

ホームページの検索数が格段に増加しているが何か理由があるか。

●事務局

市の食育のホームページの閲覧カウンターがあり、これを成果指標とした結果。各年度を閲覧した回数分だけ増加するため、過去の内容を閲覧すれば、その分だけ増加していくためと考える。

また、「コロナ禍でも情報発信は変わらずできる」という大学からのアドバイスもあり、色んな角度から情報発信をしていった結果でもあると捉えている。

○委員(各種団体)

以前、地区の保健委員をやっていた。ぜひ保健委員会の活動等を活用の一環として、食育推進を地域ぐるみで実践すると効果的ではないかと考える。

	<p>内容も、子ども向けのものが多いように感じるので、成人向けの事業を増やしていったら良いのではないか。</p> <p>○委員(各種団体) 保健委員会は市民の健康増進に関する活動をしているが、コロナ禍での活動が制限された。ウォーキング大会のように、地区保健委員会での活動は様々あるものの、運動の視点が大半であり、食育の視点はなかったように思う。</p> <p>●事務局 保健委員を通じてなど、要望があれば説明などに何う気持ちであるため、ぜひご活用いただき、食育を広めてほしい。</p> <p>○委員(各種団体) 保健委員会だけでなく、食生活改善推進員も活用してほしい。戦略的に食育の発信を行う方法として、食改を使ったり、減塩のこづゆを広めたり、健康まつりやイベント時に、健康わかまつのデータを活用して見せていくなどの取り組みをしていくと良いのでは。その際、データは使ってもよいか。</p> <p>●事務局 データの活用は、オープンにするものなのでぜひご活用いただきたい。</p> <p>○議長 様々な意見がでましたので事務局で検討いただくようお願いします。</p>
③その他	<p>○委員(各種団体) すべてに言えることかもしれないが、特に健康を推進する計画を周知していくには地元企業の参画が必要と考えるため、商工会議所などの協力を得て、地元企業にもアンケート等を実施するなど、計画策定に商工会議所や地元企業に関与してもらえると、実効性が高まると考える。次回に向けてぜひ検討いただきたい。</p> <p>他に委員より発言なく、議事終了（議長解任）</p>
その他	なし
閉会	